

令和3年度 中心市街地活性化つながるまちづくりプラン（盛岡市中心市街地活性化基本計画）のフォローアップに関する報告

令和4年10月
盛岡市

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の中心市街地の概況

- (1) 平成30年3月に策定した、国の認定を受けない市独自の「中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」に基づき、「商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成」、「暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成」、「盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成」という3つの方針のもと、各種事業を実施した。国の認定を受けた「第2期中心市街地活性化基本計画」から継続する事業も含めた全74事業のうち、今年度実施している事業が57事業、完了した事業が12事業、未着手の事業が5事業であった。
- (2) ソフト事業は、未着手の事業が1事業であるほかは、すべて完了又は実施中となっている。令和3年度は、令和2年度から継続して新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、多くの事業が中止や規模縮小となり、計画の進捗に大きく影響した。
- (3) 施設整備事業は4事業が未着手・未実施となっているほか、進行中の一部事業で新型コロナウイルス感染症等の影響により工事に遅れが生じたため、関係機関と連携し、着実に実施していく必要がある。さらに、国が募集する「ウォークブル推進都市」に賛同していることから、公民連携により「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりに取り組んだほか、令和元年度末に策定された「盛岡市立地適正化計画」とも連携しながら、社会構造の変化に対応した持続可能な中心市街地の形成を推進していく必要がある。
- (4) 令和3年度の年間観光客入込数について、インバウンドの消滅、旅行の自粛要請、各種イベントの中止や規模縮小等があり、新型コロナウイルス感染症の影響は継続していることから、前年度から減少し2,617,755人（前年比97.7%、62,472人減）となった。

中心市街地の通行量については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも前年度から回復が見られ、14,389人（前年比113.4%、1,699人増）となった。

中心市街地の居住人口については、複合商業施設monaka（もなか）の整備や盛岡バスセンターの整備による新たな賑わいの創出に向けて、神明町では17人（前年比103.1%）の人口増となっているものの、他地区での人口減少により、中心市街地全体として前年実績13,075人を71人下回る結果となった（前年比99.5%）。

※令和3年9月時点では13,062人、令和4年1月時点では13,004人となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて計画どおりに進捗していない事業が生じているが、感染症の動向を見据えて、ソフト・施設整備の各事業を着実に実施

し、住みやすく賑わいのある盛岡の魅力の向上に取り組んでいくことが重要である。特に、大型商業施設ななっくの閉店や岩手医科大学附属病院の移転により、中心市街地における人の回遊性の低下などの影響が出ているところであるが、民間事業者主体による複合商業施設monaka（もなか）の整備や令和4年10月開業の盛岡バスセンターの整備により、新たな賑わいの創出につながることを期待されている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ（各年度基準日：1月1日）】

（中心市街地 地域）	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 （計画前年度）
人口	13,278	13,324	13,552	13,461	13,367
人口増減数	246	46	228	△91	△94
自然増減数	△10	△16	△21	△37	△33
社会増減数	100	80	73	△48	△28
転入者数	918	856	917	814	836

（中心市街地 地域）	平成30年度 （1年目）	令和元年度 （2年目）	令和2年度 （3年目）	令和3年度 （4年目）	令和4年度 （5年目）
人口	13,193	13,145	13,075	13,004	
人口増減数	△174	△48	△70	△71	
自然増減数	△85	△64	△84	△49	
社会増減数	△87	△15	△50	14	
転入者数	805	808	742	788	

※人口の基準日は当該年度内の1月1日とし、増減は基準日前日までの1年間（1/1～12/31）とする。

（例）令和3年度の場合

人口：令和4年1月1日時点、増減数：令和3年1月1日～同年12月31日の増減

2. 令和3年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのソフト事業が計画通り進まない結果となったが、中止したものについては関係団体や主催者の判断もあるためやむを得ないものとする。

コロナの影響の予測が困難な状況は今後も続くと思われ、既存事業の目標達成指標だけをもって計画全体の効果を測ることは難しくなっている。そのことから、新たな生活様式に沿って実施できる事業やICT等を活用して活性化を図る事業、市民生活の利便性の向上につながるような事業があれば積極的に計画に追加して進めていただきたい。

また、令和4年度には新盛岡バスセンター、令和6年度にはmonakaが開業予定となっており、今後河南地区に大きな人の流れが生まれることが見込まれる。河南地区から大通・材木町・駅前、駅前・材木町・大通から河南地区へと人の流れが循環し、中心市街地全域が活性化するような取り組みや支援施策を検討いただきたい。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成	中心市街地の 通行量 (歩行者・自転車)	16,353人 (H30.3)	17,500人 (R4)	14,389人 (R4.3)	C	④	④
暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成	中心市街地の 居住人口	13,367人 (H29.9)	13,500人 (R4)	13,004人 (R4.1)	C	③	③
盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成	盛岡市街の 観光客入込数 (日帰り・宿泊者数)	4,250,000人 (策定時基準値) 4,199,959人 (H29実績)	4,467,000人 (R4)	2,617,755人 (R3.12)	C	- (※)	- (※)

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
 - ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 - ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
 - ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- (※) 盛岡市街の観光客入込数は、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点での目標達成見通しを予測することが困難であることから、今回の見通しを「-」とした。

2. 目標達成見通しの理由

(1) 「中心市街地の通行量」については、新型コロナウイルス感染症の長期化による全国的な自粛ムードの影響を受けつつも、ワクチン接種が進んだこと等が影響し、前年実績12,690人を1,699人上回る結果となった（前年比113.4%）。

しかし、令和元年度までは取組が計画どおり順調に進捗していたが、令和2年度以降においては新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりに進捗していない事業が生じているため。

このような中、当初は計画されていなかった新たな生活様式を取り入れたイベントの実施など、落ち込んだ人の流れや店舗の売り上げ回復に向けた取組により、事業者間連携の新たな創出や、コロナ禍におけるイベントスタイルの構築など将来に向けた明るい材料も生まれている。

(2) 「中心市街地の居住人口」については、複合商業施設monaka（もなか）の整備や盛岡バスセンターの整備による新たな賑わいの創出に向けて、神明町では17人（前年比103.1%）の人口増となっているものの、他地区での人口減少により前年実績13,075人を71人下回る結果となったため（前年比99.5%）。

※令和3年9月時点では13,062人、令和4年1月時点では13,004人となっている。

(3) 「盛岡市街の観光客入込数」については、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、インバウンドの消滅、旅行の自粛要請、各種イベントの中止や規模の縮小等があり、「岩手旅応援プロジェクト」や「盛岡の宿応援割」など観光促進施策の実施があったものの、2,617,755人となり、前年実績の2,680,227人の97.7%減に転じているが、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点での目標達成見通しを予測することが困難であるため。

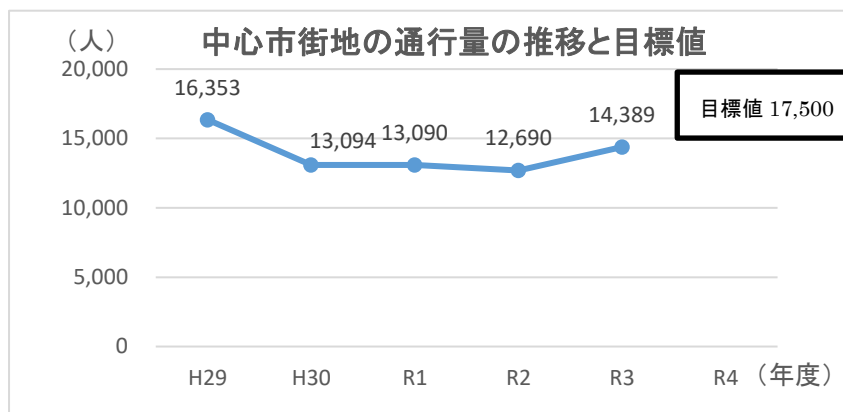
4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 基本方針1 商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成

事業：a 商店街の力を活かす b 商店街の賑わいをつくる

指標：「中心市街地歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方はプランP27参照

■調査結果の推移



年度	(人)
H29	16,353 (基準年値)
H30	13,094
R1	13,090
R2	12,690
R3	14,389
R4	17,500 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査（毎年3月下旬に実施）

※調査月：令和4年3月27日（日曜日）、28日（月曜日）

※調査主体：盛岡まちづくり株式会社

※調査対象：歩行者及び自転車通行者、8地点（数値は加重平均）

■目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 商店街等魅力強化支援事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	複数の商店街等がエリアごとにテーマを設定し魅力強化のための研修会を開催する際の講師招聘経費を補助する。
事業効果及び進捗状況	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施に至る商店街等はなかったものの、各商店街や商工関係団体に周知を図ることにより、研修会の開催に向けてのテーマ検討や課題抽出に繋がった。

② 中小企業人材育成支援事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	中小企業の役員・社員が、中小企業大学校において開催する研修を受講する場合の受講料の一部補助を行う。
事業効果及び進捗状況	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により申請に至る中小企業はなかったものの、各商店街へのチラシ配布や、金融機関へ周知依頼を実施したことにより、次年度以降の受講の検討に繋がった。

③ 商店街イベント事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	商店街等が主催するイベント等に対し、盛岡市商店街連合会を通じ盛岡市がその経費の一部を補助する。

事業効果及び進捗状況	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で市内商店街イベントの多くが中止となったが、盛岡市商店街連合会を通じて1団体に補助を実施し、商店街の賑わい創出や地域住民との結びつき強化の一助となった。
------------	---

④ 商店街活性化支援事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	①商店街をステージに、市民が主体となって企画・実施する事業②地域住民や小学校と連携し、商店街を花や木で装飾する事業③誰もが利用しやすい環境整備のため、商店街にベンチ等を設置する事業に対し、盛岡市商店街連合会を通じ盛岡市がその経費の一部を補助する。
事業効果及び進捗状況	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、市内商店街の取り組みの多くが中止となったが、盛岡市商店街連合会を通じて、ストリートステージ2団体、フラワーコミュニケーション事業1団体に補助を行い、市民の活動発表の場を確保したほか、商店街の賑わいを創出した。

■今後の対策

今後について、感染者数の増加や原油価格の高騰等による物価高騰の影響が懸念される中での商店街等のイベントの開催内容の更なる工夫により、効果的な集客につなげるとともに、日常生活でも中心市街地への来街者を増加させるため、近隣地域から中心市街地までのアクセスの向上や、商店街等に所在する事業者の経営力の向上など、魅力ある中心市街地を形成する事業を総合的に実施することで、年間を通じた交流人口を増加させ、目標達成を目指していく。

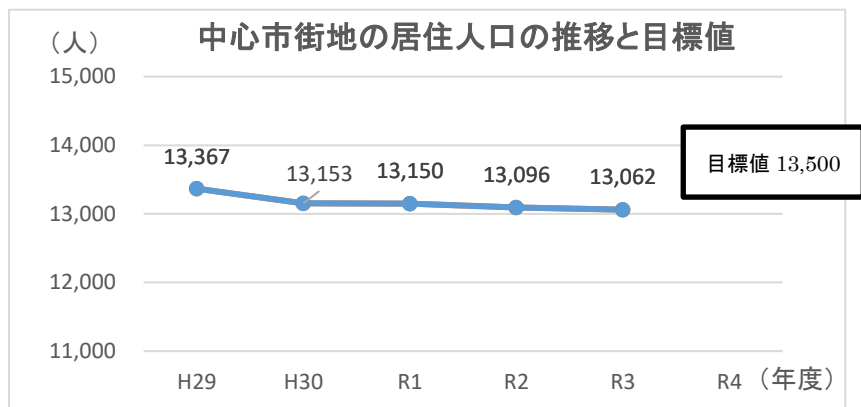
また、国が募集する「ウォークブル推進都市」に賛同していることから、公民連携により「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりに取り組んでおり、歩行者中心のまちづくりを推進し、中心市街地での回遊性を高めることで、賑わいの創出につなげていく。

(2) 基本方針2 暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成

事業：c 住みたくなる環境をつくる d 訪れやすい環境をつくる

指標：「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方はプランP28を参照

■調査結果の推移



年度	(人)
H29	13,367 (基準年値)
H30	13,153
R1	13,150
R2	13,096
R3	13,062
R4	13,500 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：令和3年9月（各年9月末日時点）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：中心市街地の居住人口

■目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 子育て応援プラザ運営事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	室内遊び場やイベントスペース、託児機能付きオフィス、カフェなどを備えた、子育て応援施設（マ・モール）を公民連携により運営する。
事業効果及び進捗状況	緊急事態宣言の発出により、施設休止期間があったが、引き続き子育て世代への支援を行った。 室内遊び場や託児機能を備えた公共エリアを運営した。子育て中の母親を雇用したワーキングスペースを運営する民間事業エリアの事業者を選定した。

② 盛岡バスセンター整備事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	平成28年に閉鎖した旧盛岡バスセンター所在地において、民間活力の導入を図りながら新たなバスセンターを整備する。(R4.10.4開業予定)
事業効果及び進捗状況	「バスターミナル機能」と「賑わい機能」を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持することで、中心市街地へ訪れやすい環境を作ると共に、河南地区を中心とした中心市街地の賑わい創出につなげる。 令和3年度は建設事業者の脱退により業者を再公募し、また新型コロナウイルスの影響により建設工事に遅れが生じた。

■今後の対策

今後について、安全な歩行者空間の確保など、市街の居住利便性の向上につながる事業を着実に実施するほか、子育て応援プラザ運営事業など住みやすいまちとしての魅力向上につながる取組を強化していくことにより目標の達成を図る。

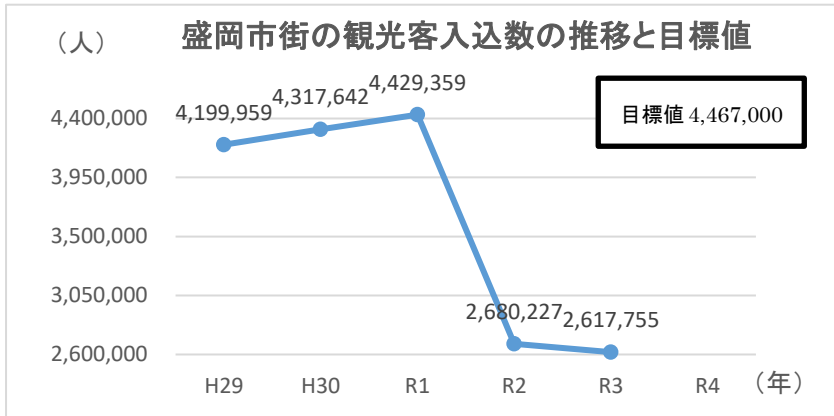
(3) 基本方針3 盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成

事業：e 城下町の魅力を発信する f 伝統と四季を発信する

指標：「盛岡市街の観光客入込数（日帰り・宿泊者数）」

※目標設定の考え方はプランP29参照

■調査結果の推移



年度	(人)
H28	4,208,272
H29	4,250,000 (基準年値)
	4,199,959 (実績)
H30	4,317,642
R1	4,429,359
R2	2,680,227
R3	2,617,755
R4	4,467,000 (目標値)

※調査方法：日帰り観光客入込数は近郊3インターチェンジ、バス事業者、JRの報告（任意）から、宿泊者数は市街地宿泊施設の宿泊者数報告（任意）から集計。

※調査月：令和4年3月（令和3年1月～同年12月分の数値）

※調査主体：盛岡市

※調査対象：① 日帰り観光客入込数 盛岡 IC、盛岡南 IC、滝沢 IC、岩手県交通、岩手県北バス、JR東日本
② 宿泊者数 盛岡市街の宿泊施設

■目標達成に寄与する重点事業の進捗状況及び事業効果

① 盛岡おもてなし度UP事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	市、観光団体及び事業者等が連携して、観光誘客PRや、職域研修会などの開催を支援する。 遠来からの観光客に市を挙げて「おもてなしの心」で接することにより、観光客のリピーターや口コミなどによる観光客誘致を促進し、中心市街地の魅力の発信につなげる。
事業効果及び進捗状況	職域別研修会開催の支援、観光タクシーパンフレット作製費の補助や観光セミナーの開催によるおもてなしの推進を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部職域別研修会は開催中止となったものの、観光タクシーパンフレット作製費の補助や観光セミナーの開催により、おもてなしの推進を図った。

② 盛岡さんさ踊りなど伝統的な四季の祭りの開催

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	盛岡の伝統的な祭りの開催などを通じて、盛岡の特徴的な四季の魅力を発信し、盛岡と盛岡を訪れる人とをつなぐ。
事業効果及び	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春の

進捗状況	「盛岡さくらまつり」「大盛岡神輿祭」「チャグチャグ馬コ」、夏の「盛岡さんさ踊り」「ゆかたのまち盛岡」推進事業、秋の「盛岡秋まつり山車」の6事業が中止、「もりおか雪あかり」「フラワーバスケット事業」「盛岡七夕まつり」の3事業が規模縮小実施となり、計画の進捗に影響した。
------	---

③ 「ゆかたのまちもりおか」推進事業

事業完了時期	令和4年度【実施中】
事業概要	毎年夏の約1か月間、協賛店をゆかた姿で利用すると様々なサービスが受けられるキャンペーンを実施する。 ゆかたで街を回遊することを楽しめる街にすることで、華やかさや賑わいを創出するとともに、商店街を中心とした協賛店のサービスを利用するきっかけをつくり、商店街の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業が中止となった。

■今後の対策

今後も、感染者数の増加や高止まりにより、活動を自粛する動きが強まることが予想されることから、現時点で目標達成の見通しを予測することは難しいが、感染症対策を講じたイベントの開催やインターネット環境の整備やキャッシュレス決済等デジタル化への対応など利便性の向上により、観光客などが安心して訪れやすい、便利で魅力的なまちづくりを推進するとともに、市街地を回遊させる取組を総合的に実施することで、中心市街地全体に経済効果を波及させていく。